

令和 6 年度第 2 回文化財保護審議会会議録

日時：令和 7 年 1 月 31 日（金）15：30～16：45

場所：西公民館 201 会議室

出席：（委員）加藤会長、伊庭委員、上杉委員、一瀬委員、坂根委員、並木委員、

日向委員、池田委員、廣瀬委員、吉岡委員

（事務局）鴨田市長、福田部長、三方次長、松本担当課長、佐藤、矢内、尾崎

欠席：松尾委員、森島委員

会議内容：

1. 鴨田市長開会挨拶

2. 令和 6 年度文化財指定について（諮問）

3. 協議事項

（1）「木造 阿弥陀如来坐像」の文化財指定について

事務局より説明（資料 2）

（委員からの主な意見等）

- 彩色は後補だと思われる。
- 市内に古い仏像が多数残されている。地域にとっても良いものが残っていると感じ
ていただけるように、本像に限らず調査を進めていってほしい。
- 頭部に空いている穴は何か？
→別材で嵌めた白毫と肉髻珠が脱落したもの。

（2）「木造 毘沙門天立像」の文化財指定について

事務局より説明（資料 3）

（委員からの主な意見等）

- 昭和 40 年ごろに行われた調査では時代を九世紀と推定された。もう少し時代は遡
っても良いのではないかと思う。
- 事前に配布された調書において、附記にある如来像残欠と阿弥陀如来坐像は、大森
神社の本地仏であったものが、神仏分離によって現在地に移転してきたものとみて
さしつかえないとしている。その点を踏まえると、今後「附」などの指定の措置があ
ってもよいのではないか。
→事務局）今回はあくまでも毘沙門天像のみを指定する予定。

- (3) 「桂林寺本堂障壁画 鈴木南嶺 筆」の文化財指定について
事務局より説明（資料 4）

（委員からの主な意見等）

- 付立て技法は輪郭線を用いない描き方であり、筆先で素早く塗るというものではない。
- 「雪中楼閣図」に描かれる松の木々は円山派に学んだ描き方であり、「不格好」という文言では不適當。
→事務局）確認のうえ答申文に反映する。

4. 協議事項

- (1) 令和 6 年度両丹文化財保護連絡協議会（令和 6 年 11 月 25 日実施）について
- (2) 文化財防火デーに伴う防火訓練（令和 7 年 1 月 26 日実施）について
- (3) 女布の発掘調査結果について

5. その他

事務局）次回日程については 3 月 18 日（火）を予定